

## 富裕層の「税金逃れ」を封じれば消費増税は不要になる (ダイヤモンド・オンライン)

最優先すべき政策課題は富裕層の野放図な「税金逃れ」の実態にメスを入れることではないか。「税金逃れ」には厳罰をもって重税を課すなど、富裕層の「税金逃れ」を徹底的に封じて、それを税収の新たな有力財源に育て上げていく発想の転換により、懸案の租税負担の公正化とともに、平準化を期するための法整備を急ぐことが先決ではないのか。

増税延期に伴い、ならば代わる財源を何に求めるべきかの議論が本来あって然るべきであったが、その後には続いた河野太郎・前東京都知事の辞任騒動、世界の金融市場を混乱に陥れた英国のEU離脱騒動、そして目前に迫っている参院選といった重大ニュースの強に隠れて、素通りしてしまったかのように見える。今回は、改めてこの点に焦点を当てて考えたい。

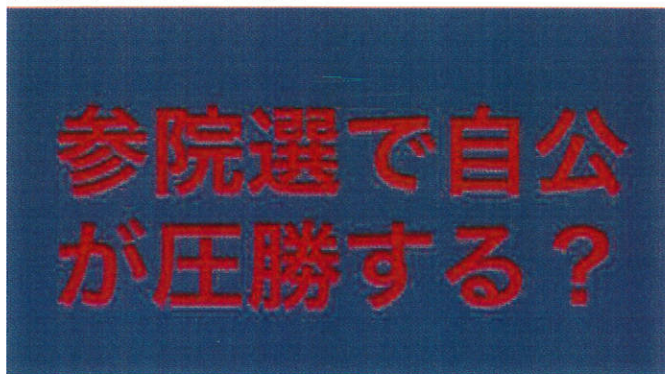
考えてみれば、これまで税務当局が見逃してきた富裕層の「税金逃れ」封じを徹底し、とりわけ目にあまる相続税の捕獲率の低水準を抜本的に改善し、向上策を固めるだけでも、日本の税収は一挙に、大幅に潤うはずだ。そうすれば、消費増税はもとより中長期的には消費税そのものが不要になる、ということも決して夢物語ではなく、不可能ではない。



これがダイヤモンド・オンラインの、本当に素晴らしい記事ですね。僕は、この記事を書いたダイヤモンドには敬意を表しています。

これが、パナマ文書で晒された財務省7人のワルたち。この人たちの名前がパナマ文書に出てくることは、この人たちは個人的に資産を海外で運用している、つまり、海外に資産を隠している。いったいどんな巨額な収入があるんでしょうね、財務省の人って。そんなに儲かるんですか、財務省の役人ってのは？ どの裏金があるんでしょうね？ なんで追及されないの、おかしいね。大体がね、僕が思うのは、国税庁、毎年ものすごい巨額のお金を使って脱税を摘発してるんですが、去年はどのくらい脱税が発覚したかっていうと、確か250億円だと思ったんです。何やってんの、この人たち？ だってさ、パナマ文書だけでいくら？ 60兆円とかそういう数字でしょ。そっちのほうが手つかずになっていて、で、リチャード・コシミズあたりから100万、200万取ろうとしている。冗談じゃないよ、何勘違いしてるんだ。リチャード・コシミズから200万取ったら、そりゃ困っちゃうよ。リチャード・コシミズは、もともとあんまりお金に執着がないからね、200万ないと困るの。日々の活動ができないし、ホッピーも飲めなくなるわけ。で、そのために国税庁は存在するの？ つまり、我々が正しいことを貫徹しようと思ってる、それを邪魔するのが国税庁の仕事なんですか？ 国税庁は、まず何をやるべきか？、パナマ文書に出てきた人間、企業、全部しらみつぶしに調べて追及すべきだ。なんでやらないか？、奴らも同じ穴の貉だってことなんですか？ …「奴ら」と言っちゃ失礼ですね、「あいつら」…同じか。

## 参院選で自公が圧勝する？



「参院選で自公が圧勝する」って話があります。

序盤情勢、改憲勢力3分の2うかがう。与党は改選過半数の勢い。民進は10議席以上減が確実。

もう第4回大掛かり不正選挙の結果が出ましたw馬鹿だね～何でこんな結果なるの？国民の目が不正選挙に集まりますね。

序盤情勢 改憲勢力、3分の2うかがう 与党は改選過半数の勢い 民進は10議席以上減が確実

<http://www.sankei.com/smp/politics/news/160623/pl1606230055-s1.html>

2016.07.01

## RK 池袋緊急講演会



リチャード・コシミズ 独立党

©2016 リチャード・コシミズ 独立党